

「放牧期間延長のための作付け支援シート」の使い方

はじめに

- ・このシートは、秋冬季における繁殖雌牛の放牧期間の延長計画を策定する際に、どの草種をいつ頃播種すると、希望頭数をいつまで放牧できるかを算出するためのものです。
- ・入力が必要項目は、年平均気温、播種予定日、牧区面積、放牧頭数、入牧予定日です。
- ・また詳細な体重が分かっている場合に、別の体重設定シート内に平均牛体重を入力してください。

全体を通じての注意事項

- (1) シート内の白色セルが入力用、黄色セルが出力用です。
- (2) 白色セル以外は、入力および変更することができません。
- (3) 入力した値を削除する場合も、白色セルのみを選択して削除するようにして下さい。
(エラーが表示されます)

手順

1. 必要項目の入力

The screenshot displays the 'Pasture Extension Support Sheet' interface. On the left, there are input fields for '年平均気温 (°C)' (12.0), '播種予定日' (9月5日), '牧区面積 (a)' (60), '放牧頭数' (3), and '入牧予定日' (11月1日). A note indicates to refer to the homepage for the average temperature. Below these is the title '放牧期間延長のための作付け支援シート'. On the right, a line graph shows '草量 (g DM/m²)' over time from 8/18 to 4/25. Three curves represent different grass types: エンバク (red), ライムギ (blue), and イタリアンライグラス (yellow). Vertical dashed lines indicate '入牧日' (11月1日) and '入牧予定日' (11月1日). At the bottom right, a table shows the '入牧すると...' (When grazing starts...) results for each grass type.

11月1日 に入牧すると...		
エンバク	ライムギ	イタリアンライグラス
3月21日	1月30日	1月23日
まで放牧できます。		

左側の※が付された項目に入力してください。

- (1) 年平均気温：放牧予定地域の年平均気温を入力してください。平均気温は、市町村のホームページや、google等の検索サービスで「(市町村名) 平均気温」で探してみてください

ください。

- (2) 播種予定日：播種予定日を入力してください。
- (3) 牧区面積(a)：放牧予定の牧区（圃場）の面積を入力してください。
- (4) 放牧頭数：黒毛和種繁殖雌牛の放牧予定頭数を入力してください。
- (5) 入牧予定日：夏季放牧が終わり、造成したエンバク/ライムギ/イタリアンライグラス草地に入牧する予定の日を入力してください。

2. 体重の入力

もし、放牧予定牛の体重について、詳細が分かる場合には、タブ「体重設定」に平均牛体重の項目がありますので、入力してください。

3. 結果の出力

必要項目を入力すると、以下が示されます。

- (1) 右のグラフにその地域で推定されるエンバク/ライムギ/イタリアンライグラスの生育に伴う草量の推移と、各種条件（草地面積、牛の頭数、入牧日）に対する、各草種を用いた際の利用期間が表示されます。
- (2) 右下の表には、各草種を用いた場合の利用期間が日付で表示されます。

対象地域等

南東北以南の積雪量が少なく、利用を想定する期間に根雪が生じない地域を対象とする。普及場所は、耕起等の管理作業が可能な土地とする。

注意

このプログラムの使用にあたり、著作者はいかなる保証も行いません。利用者自身の責任においてご利用ください。著作権は著作者が有しますので、これらのソフトウェアを転載、再頒布するときには、事前に連絡し、了承を得てください。

本マニュアルに関する情報

2017/12/27 本マニュアルの作製（農研機構畜産研究部門 平野 清）